

# 一般・特別両会計総額

# 126億3,515万3千円でスタート

平成6年度予算決まる

平成六年度の一般会計と特別会計の当初予算が決まりました。三月一日から開かれた第二回市議会定例会に小平市長が示した一般会計予算は、八九億一、三〇〇万円で、平成五年度（八五億四、〇〇〇万円）に比べ四・三七％の増額になりました。

また、五つの特別会計の総額は、三七億二、二一五万三千円で、平成五年度（三四億四、八六八万九千円）に比べ七・九三％の増額になりました。

平成六年度の予算編成に当たっての施政方針および新年度の主な事業は次のとおりです。

## 自然と市民生活が調和する 誇れるまちづくりを

### 市長の施政方針から

我が国は、世界各国がまだ経験したことのないような速さで高齢化社会を迎えようとしています。一方、さまざまな社会情勢の変化が進むなか、国民一人ひとりが真に「ゆたかさ」と「ゆとり」を実感できる魅力ある地域社会の構築が強く望まれています。

しかしながら、現在の経済情勢は、急激な円高の進行に災害、冷夏の影響が加わり景気の低迷が続く、雇用情勢や地域経済も極めて厳しい状況です。長引く景気の低迷は、国、地方を問わず、税収動向に深刻な影響を与えているため、総合経済対策の効果を期待し、早急な景気回復を図ることが急がれています。

私は市長就任以来、市議会をはじめ市民の皆さんのご理解とご協力のもとに、市民の福祉の向上と日光市の活性化を最大の目標に掲げ、公平で清潔、温かく親切な行政を全市民的に行うことを政治理念として、自然と市民生活が調和する誇れるまちづくりを推進すべく、精一杯努力してきました。今後とも積極的な話し合いを基盤とした行政を推進して行く決意ですので、皆さんのご理解とご支援を心からお願いいたします。

では、平成六年度予算編成の基本的な考え方をご説明します。

我が国の財政が、景気の低迷で大幅な財源不足が見込ま

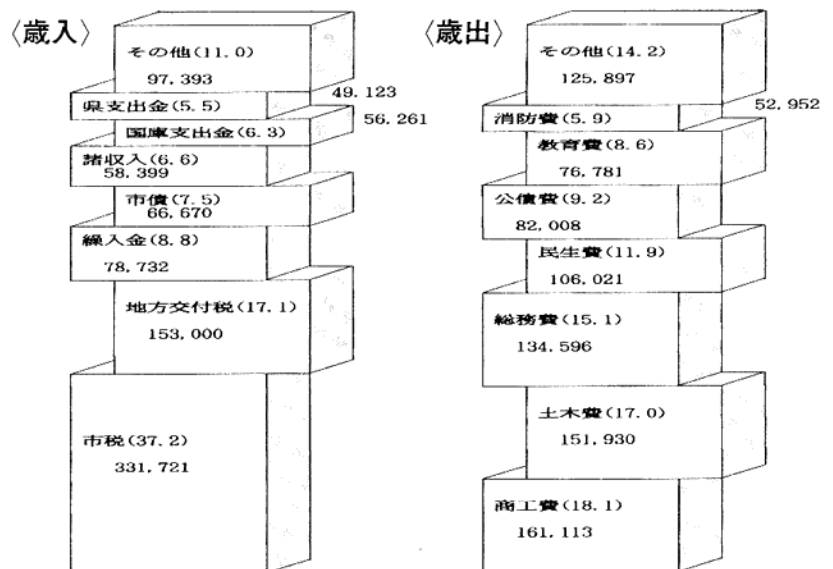
れるなど極めて厳しい状況が続いているなかで、当市の財政運営につきましては、市税収入については前年度マイナスという状況にあり、また地方交付税についても増収が期待できないなど、今後極めて厳しい局面を迎えることも予想されます。しかしながら、社会経済情勢の動向を的確に認識し、行政の簡素化、効率化を進めるとともに、施策の優先順位の厳しい選択を行うなど、より一層節減合理化に取り組みつつ、「市民の福祉」の着実な向上を図り活力あるまちづくりを積極的に推進していきます。

### 前年度より 五・三九％の増

平成六年度の予算額につきましては、一般会計総額は八九億一、三〇〇万円で、前年度と比べ四・三七％の増になり、特別会計五会計の総額三七億二、二一五万三千円を合わせると、一二六億三、五一一万三千円になり、前年度より五・三九％の増になりました。なお、水道およびリフト事業会計は別途編成しました。

本予算について総合的に申しますと、歳入については、非常に厳しい状況下ですが、市税・地方交付税および市債などについては、現行制度の

## 平成6年度一般会計予算 (単位：万円)



もとに現時点で見込み得る額を計上するとともに、国・県補助金についても積極的に導入に努めました。

さらに、財政調整基金、減債基金、ふるさと活性化基金などについても適切な活用を図りました。

歳出面につきましては、各種施策について優先順位の厳しい選択を行うとともに、市民の行政需用にこたえるべく投資的経費に重点的かつ効率的に財源を配分し、経常的経費については極力節減、合理化に努めました。

なお、前にご説明したように、現行制度のもとで予算編成を行っておりますので、国において税制改正が行われ、所得税・住民税減税が実施された場合には、補正予算で対応して行く考えですのでご理解をいただきます。

以上予算編成に当たって基本的な方針をご説明しましたが、次に平成六年度主要事業についてご説明します。